

田んぼアート、見に来てね

行田市



今年は「翔んで埼玉」描く

【埼玉】行田市の田んぼアートは、今年で15回目を迎えた。

約2・8畧の田んぼアートは2015年にギネス世界記録に認定され、7月下旬から10月まで楽しめる。絵柄は毎年、市と関連のあるものから選ばれ、今年は映画『翔んで埼玉』〜琵琶湖より愛をこめて〜のデザインが描かれた。写真。埼玉県産のオリシナルブランド米「彩のかがやき」や「ゆきあそび」など4品種の苗を使い、約5000

人の田植えボランティアで作り上げた。

「長年続けられたのは、多くの人の協力と地元理解のおかげ」と話す同市農政課の担当者は「田んぼアートは見る時期やふく風によって色合いや趣が変化する。ぜひ田んぼに足を運んで、日本人の主食である米や田園風景に関心をもってもらいたい。そのためにも、見た人の心に残るよう、さらにクオリティの高い絵柄に挑戦したい」と抱負を語った。